



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2020年4月以降にバイオバンクおよび「Parkinson病及びAlzheimer病ディメンジョンを対象とした包括的神経画像研究」通称PADNI（PADNI）に参加いただいた方

【研究課題名】

Parkinson病及びAlzheimer病ディメンジョンを対象とした包括的神経画像研究

【研究責任者】

花川隆（国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター）

【本研究の目的及び意義】

高齢者に発症する二大神経疾患であるパーキンソン病とアルツハイマー病の共通点ならびに相違点を理解し、病初期に起こる脳の状態の変化などの手がかりを得ること。今回の研究により、将来的にパーキンソン病とアルツハイマー病の早期発見と早期治療や根治につながる知識が得られる。

【本研究に提供する試料・情報】

DNA
診断

【研究期間】

2018年11月21日 ～ 2024年3月31日

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail : biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)